



山梨リニア実験線

超電導磁気浮上式鉄道開発の主な歴史

昭和 37 年度	リニアモーターカー推進浮上式鉄道の研究開始。
昭和 47 年度	超電導磁気浮上式鉄道浮上走行に成功。
平成 2 年度	山梨リニア実験線技術開発基本計画、建設計画について運輸大臣より承認を受ける。
平成 9 年度	山梨リニア実験線全線42.8kmのうち18.4kmの先行区間で走行試験開始。
平成 15 年度	時速581km有人走行成功。
平成 16 年度	相対時速1026km/h のすれ違い試験成功。
平成 19 年度	山梨リニア実験線42.8kmでの走行試験に向けて、設備更新と延伸に関わる技術開発基本計画、建設計画について国土交通大臣より承認を受ける。
平成 20 年度	山梨リニア実験線更新延伸工事着手。
平成 21 年度	実用技術評価委員会より「超高速大量輸送システムとして運用面も含めた実用化の技術の確立の見通しが得られた」との評価を受ける。
平成 23 年度	超電導リニアに関する技術基準が国土交通大臣により制定される。
平成 25 年度	山梨リニア実験線更新延伸工事が完了し、全線42.8kmでの走行試験を開始。

山梨リニア実験線

超電導磁気浮上式鉄道(リニア)は、21世紀の鉄道として世界から注目されている新しい乗り物です。現在、東海旅客鉄道株式会社および公益財団法人鉄道総合技術研究所によって、東京～大阪間を時速500km、約1時間で結ぶという夢の実現に向け、長期耐久性、経済性等の課題解決のために種々の実験が行われています。



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.